

みんなできっといい町へ

第62号
2020.2.1

議会だより

ふた

- 4 議会との意見交換会
- 8 所管事務調査
- 16 一般質問に7議員

シリーズ
ふたふた美郷中

ボランティア活動に夢中のインターアクト部

〔詳細は27ページ〕

定例会概要	2
議長あいさつ	3
意見交換会	4
所管事務調査	8
一般質問	16
研修報告	24
表彰	27
キラリ美郷	28

発行：秋田県美郷町議会
編集：議会広報常任委員会

12月定例会

PickUp!

議決
28件

12月定例会を、12月2日から11日まで10日間の会期で開きました。審議した議案は、人事案件に対する同意、各種条例の改正、指定管理者の指定、一般会計補正予算など28件。その全てを、原案のとおり同意・可決しました。陳情は3件を採択し、意見書を関係機関に提出しました。

一般会計補正予算

9727万7千円

役場庁舎エレベータ改修

1298万5千円

内田議員 保護装置の設置や耐震強化ということだが、長寿命化も考えられているのか。

総務課長 工事内容は、人身事故防止、地震等の機械の破損防止、閉じ込め防止等である。この工事により、結果的に長寿命化につながると認識している。

総合体育館エレベータ改修

1392万1千円

保護装置の設置や耐震強化など

小学校設備改修

1003万7千円

3小学校の防火設備改修

中学校設備改修

966万3千円

防火設備改修とエレベータの保護装置設置など

給食センター施設設備

1258万4千円

給食センターの施設修繕ほかフライヤーなどの備品購入

温泉施設改修

793万3千円

千畑温泉サン・アールのサウナ室ガラスを交換、六郷温泉あったか山と湯とびあ雁の里温泉の浴室天井などを塗装
細井議員 町内3温泉の工期と休館予定は。



湯とびあ雁の里温泉の浴室天井

商工観光交流課長 六郷温泉あったか山と湯とびあ雁の里温泉の工期は7日間から10日間であり、その間、休業することになる。千畑温泉サン・アールの工期は1日なので、休業日に合わせて工事を実施したい。

農村整備費・多面的機能支払交付金返還金

259万5千円

熊谷(隆)議員 事業団体が活動をしなかったから返還されたのか。
農政課長 通常の活動は行われている。持ち越し金を精査したところ、返還が生じた。

国民健康保険

特別会計補正予算

417万2千円

熊谷(良)議員 単年度決算の国民健康保険だが、余りを税の値下げ等に回したりせず、継続性のある運営をしていくべきと考えるが、見解は。

ご挨拶



美郷町議会議長

澁谷 俊二

令和2年は、雪の少ない年明けとなり、穏やかな正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

町民の皆様方には、平素より議会へのご理解とご協力を賜り衷心よりお礼申し上げます。議会も研鑽を重ね、活動の充実を図ってまいります。

平成18年から、町内各地域に出向き、議会活動の報告や政策に対し町民の声を伺うため「住民と議会との懇談会」を毎年開催してまいりました。平成30年までに町内118行政区すべてを回り終え、昨年は新たな試みとしてPTAや農協・商工会女性部との意見交換会を行いました。議会への提言、町への要望等、立場立場での考えや意見を聴くことができ、新たな議会の方向性を教えられた意義のある意見交換会でした。これからも引き続き開催してまいりたいと考えておりますのでご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年は元号も平成から令和と改まり、町も合併15周年と慌ただしい1年でした。また全国町村議会議長会は、創立70周年を迎えました。去る11月13日、東京NHKホールにおいて開催された「第63回町村議会議長全国大会」では、東日本大震災からの復興・大規模自然災害からの復旧及び大規模災害対策の確立・町村財政の強化・議会の機能強化及び多様な人材を確保するための環境整備等28事項、さらに北海道から九州まで9地区の要望書を国に提出しました。

議会では今、基本条例や常任委員会の充実、政策の提言など、様々な課題に取り組んでいます。開かれた議会、親しみやすい議会をめざし頑張つてまいりますので本年もよろしくお願い申し上げます。
令和2年が町民の皆様方にとって最良の年となりますようご祈念申し上げます。

条例

美郷町会計年度任用職員の給与と費用弁償に関する条例の制定

泉議員 フルタイム職員とパートタイム職員の人数はどれぐらいか。期末手当の支給対象者数は。

総務課長 職員の総数は200人程度で、フルタイム職員は半数ぐらいになる。規則の詳細はこれから詰めることになるため、期末手当支給者数については未だはつきりしていない。

交通指導員条例と防犯指導員条例の廃止

内田議員 交通指導隊員と防犯指導隊員が有償ボランティアになることで、今後の隊員の報酬、業務内容、募集などはどうなるのか。
住民生活課長 業務内容、職務、制服や装備品の支給については、現行と同じ。報償費は、現行の金

施設名	指定管理者
住民活動センター	特定非営利活動法人みさぼーと
屋内スポーツ館	
歴史民俗資料館	
千畑温泉サン・アール	
六郷温泉あったか山	
湯とびあ雁の里温泉	
宿泊交流館ワクアス	
道の駅雁の里せんなん	
手づくり工房湧子ちゃん	
ニテコ名水庵	
観光案内休憩所清水の館	あきた美郷づくり株式会社
名水市場湧太郎	
あったか山直売所	
アクティセンター	
堆肥センター	
	株式会社美郷の大地

指定管理者の指定

令和2年4月1日から3年間、左記の業者に管理を委託する。

額をベースに検討していく。隊員募集については、現行の隊員に引き続きお願いしていく。

議会との意見交換会

①美郷町PTA連合会

平成30年度に「住民と議会との懇談会」が一巡したため、新たに「議会との意見交換会」を行うことにしました。

日時：令和元年10月24日 場所：飛翔館 参加人数：住民13名
担当議員：森元淑雄、高山茂雄、細井邦男、熊谷良夫、
鈴木良勝、藤原政春、鈴木正洋、澁谷俊二

意見 グリーンベルトや横断歩道の設置など、子どもの安全確保に取り組んでほしい。

質問 風が強い時は、防災無線が聞こえにくい。どうすればよいか。

議員 防災メールや町ホームページで情報確認を。防災メールに登録してください。

質問 町のイベントや祭り等の情報発信に、防災無線を使えないか。

議員 目的外の使用は難しい。

安全



意見 クマの出没情報は、できる限り場所を限定して、速やかに配信してほしい。

意見 通学バスのバス停が遠すぎるのではないかな。夏は自転車通学、冬はバス通学という人の中には、夏もバスに乗せてほしいという声もある。

通学バス



意見 通学バス利用に関する距離などの基準について、町担当者の対応が曖昧だと感じた。基準の変更には、保護者との調整の場が必要でないか。

議員 所管事務調査で確認する。
※11ページ参照

意見 スポ少が活動できる場所を増やしてほしい。屋内スポーツ館は利用者が多く、特に冬場は練習場所を確保するのが難しい。クロスカントリーの練習では、夏場に雄物川河川敷を利用している。美郷町内に活動できる場所がほしい。

PTA・スポ少

意見 PTA活動で町の施設を使用する際、利用料を免除してもらえないか。PTAへの支援を充実させて、それを町のアピール点にすればよい。

質問 美郷町に住んで良かったと思えるメリット、他市町村より良いところが分からない。町の良いところをアピールしたいのに、説明できない。

議員 美郷町は災害の少ない町。

質問 住みたいと思う魅力に乏しいから、人口が減るのではないかな。

議員 移住定住については、研修視察で訪問した他自治体の取り組みなどを参考にして、政策提言を行っていくことが大事だと考えている。観光については、3月に新しい観光振興計画が策定された。今後は、通過型観光から滞在型観光に切り替わり、経済活性化が図られる。

住まい

意見 大家族で暮らしていた昔の生活様式に戻せば、子育てもし易くなる。若い人が高齢者を支えるという考え方に切り替えて、生活様式を見直せばよい。

意見 町ホームページの空き家情報が使いにくい。知人の家探しを手伝ったが、結局、大仙市と横手市の物件を紹介した。今の時代は、ネット上に情報がなくて選択肢にすら上らない。特に賃貸物件の情報が少ない。

議員 美郷町の良い物件は、すぐに売れてしまうということもあるだろう。

議会との意見交換会

②商工会女性部・農協女性部

日時：令和元年11月26日 場所：飛翔館
参加人数：住民22名
担当議員：伊藤福章、泉美和子、村田薫、深澤均、内田清文

質問 女性の活躍も期待されているが、議員が魅力のあるものでないといけない。議員定員を削減して報酬を上げるべきではないか。
なぜ議員になったのか、町に求めることと、これまでの達成度はどのくらいか。

議員 住民の声を町に届けたいと思った。一般質問で取り上げて実現したこともある。(それぞれが答えた)

意見 団体間の交流が必要なのではないか。同じ町なのに派閥や疎外感を感じる。

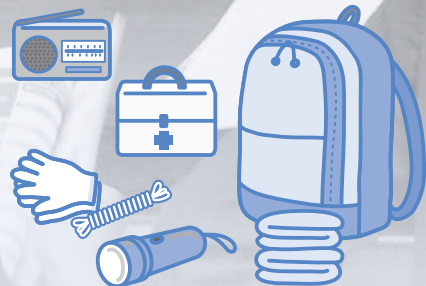
議員 団体間の交流が活発になると、美郷町が活性化する。

活性化

質問 まちづくり団体同士や活躍している人同士の交流会があれば、もっと活性化するのではないか？

議員 まちづくり団体のCDMや商工会に入ってみてはどうか。

防災



意見 宅内から防災無線が聞こえない。防災無線と同じ内容をFMラジオで放送してはどうか。また、防災に関する情報が少ない。

議員 電話とホームページで防災無線の内容が確認できる。ぜひ活用してほしい。

将来

質問 地域に仕事がないため、少子化、高齢化が進んでいる。対策が必要ではないか？
人口減少になると税収も減少する。
町の事業の優先順位を考えるとよいのでは？

議員 毎年300人くらい減っている。大変な問題だ。隣接市町の協力が必要だと思っている。広域連合のようなものも考えていかないとけない。勉強をして大学を出ても地方には活かせる仕事がない。2町1村や2市1町の議員交流会をしているが、もっと大きい枠組みが必要だ。

質問 農業の将来が心配だ。農業の活性化が必要ではないか。後継者問題もある。

議員 小規模農家でも生活できるような、対策を考えていきたい。基盤整備や複合経営など農業の環境も変わってきているので、それに合わせた対策を検討しないとけない。

御礼

皆様から頂いたご意見を参考に町への提言を行ってまいります。

公平かつ適切に評価し課税を

◆調査内容

新築木造家屋住宅の評価基準について （税務課）

町では、電算システムを導入し、評価を行っている。各部屋のほか、外壁や内壁の面積も算出されているため、「施行量の多少」などの補正係数の計算が容易にできる。当システムは全国で650以上の自治体で採用されている。県内では、当町のほか6自治体が使用している。



電算システムを使用

◆意見

家屋評価の基準に関する法令等の内容について、十分に理解されている。家屋評価の算出にあたっては、電算システムの導入により、公平性が担保されていた。引き続き適正に評価、課税されることを望む。

実務訓練を通し初動体制の確立に努めよ

◆調査内容

災害時の職員の初動体制について （総務課）

地震発生時または風水害発生時の配置基準と配備体制のマニュアルは完備されている。災害警戒本部、災害対策部は役場に設置される。気象予報や現場状況などから災害の事前情報収集に努めている。福祉避難所は、ワクアスに指定している。



バリアフリー化されたワクアスの浴室

◆意見

災害時の職員の初動体制については、今年の台風19号の実務をもとに訓練をしており安心した。自治会や地域の自主防災組織と連携しながら効果を出してほしい。

所有者の責任で空き家の抑止を

◆意見

所有者に適正な管理を望む通知をしているが、危険空き家の抑止に繋がるようさらなる努力をしてもらいたい。

◆調査内容

危険空き家の状況と対策について （住民生活課）

現在、空き家台帳に228件の空き家が登録されている。危険と思われる空き家は26件ある。平成30年度に危険空き家解体補助金を50万円にした。空き家解体に必要な資金の融資制度を設けている。

空き家所有者に対し、適正に管理するよう年2回通知を出している。

総務 常任委員会

令和元年11月5日に

所管事務調査を実施しました。

詳しく調査！

所管事務
調査

Report



寄付者の利便性の向上を

◆調査内容

ふるさと納税の返礼品について （企画財政課）

返礼品は、総務省の基準により寄付金額の3割以内となっている。当町では、現在61件扱っている。公募により、さらなる拡充が図られたことで、寄付件数が大幅に増えた。令和元年度は、「楽天ふるさと納税」のホームページに美郷町のページを新たに開設し、周知に努めた。



返礼品の一例

◆意見

寄付者の利便性の向上を図るなどして、適切に事業を継続してほしい。

教職員と保護者間の 情報共有の徹底を

◆調査内容

いじめ対策、不登校児童・生徒への
対応について（教育推進課）

〈いじめ対策〉

平成29年3月、「いじめ防止等の為の基本的方針」が改訂され、「いじめ」の範囲が広がり、認知件数が増えた。「いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、関係機関と連携を図っている。

〈不登校の現状と対応〉

不登校の要因は、学校や家庭生活上の問題、本人の問題等が複雑に絡み合っている。学級担任等が家庭訪問等を行い、子どもの実態に応じた支援をしている。

保健室等へ登校できるようにしたり、学校以外での学習の機会を確保する等の支援体制の充実に努めている。

◆意見

隠れたいじめを見つけ、意識して対策に当たってもらいたい。

いじめ、不登校は、いつ発生してもおかしくないと思え、対応を徹底されたい。



高齢者福祉会議（東京にて）

◆意見

高齢者には支援事業などの情報が届きにくいと思われる。地域でどのような支援が受けられるか積極的に周知してほしい。

利用基準を明確に

◆調査内容

通学バスの運行状況について
（教育総務課）

運転業務は業者と3年間の委託契約を結んでおり、業者側で勤務や健康の管理をしている。これまで事故報告はない。

バスの利用対象者は小学生3km以遠、中学生は夏季6km以遠、冬季4km以遠、こども園児は700m以遠としている。距離は公用車による実測で確認している。

児童の体力維持のため、夏季は学校手前1kmで降車させ、歩かせている。

◆意見

バス運転手の健康管理は、町でも検診結果をチェックしてほしい。

通学バスは、距離が数メートル違うだけで、利用出来ない児童生徒がいる。保護者と丁寧に話し合ってもらいたい。



高齢者福祉支援事業の周知を

◆調査内容

高齢者支援について（福祉保健課）

高齢者生活支援サービス事業は、軽度生活援助、雪下ろし等、配食サービス、ふれあい安心電話、高齢者生活支援ハウス等の事業を行っている。また相談事業としては、総合相談支援、認知症カフェ、地域住民グループ支援等を行っている。

教育民生常任委員会

令和元年11月8日に
所管事務調査を実施しました。

詳しく調査！
**所管事務
調査**
Report



夏季災害の暑さ対策が必要

◆調査内容

災害発生時の備蓄品について
（住民生活課）

保管場所は、速やかに供給できる体制の確保と被災リスク分散の観点から、町内5箇所に備蓄している。

備蓄品は、定期的に点検を行い、消費期限前に活用している。期限後の水については、トイレ等その他に利用出来るため廃棄せず保管している。これまで粉ミルクを備蓄していたが、令和元年5月から液体ミルクへ変更した。

自主避難の場合は、自分の食料品等を持参するのが原則。平成29年の大雨災害以降、備蓄品を使う機会はないが、消費期限等を考慮して随時補給している。



備蓄している水を確認

◆意見

備蓄品は、消費期限に合わせてよく管理されている。

夏季避難所は、暑さへの対策が必要ではないか。必要な備蓄品等の検討など、対策を講じられたい。

産業建設常任委員会

詳しく調査！

所管事務調査

Report

令和元年11月14日に
所管事務調査を実施しました。

早急に改善計画を

◆調査内容

町営住宅の現状と
リフォーム計画について（建設課）

町営住宅は、一定の所得水準に該当する住宅困窮者に、比較的に安い家賃で住宅を供給している。千畑地区に32戸、六郷地区に123戸、仙南地区に34戸あり、入居率は92.6%（令和元年10月31日現在）となっている。

しかし、耐用年数が経過していると判断された住宅もあり、一部施設に老朽化が顕著な状況がある。安全性確保のため速やかに現地調査を行い、経年劣化の修繕には対応している。



仙南地区の住宅を視察

◆意見

一部に建設後30年から40年が経過し、老朽化が著しい住宅がある。最適化計画の立案と、公営住宅等長寿命化計画に基づき早急に改善すべきである。

より一層の支援・指導を

◆調査内容

基盤整備による農地集積と
農業法人の現状について（農政課）

過去5年間に基盤整備に取り組んだ地区は5地区で、法人数は整備前の7法人から整備後23法人になる予定である。



TEAM.Freedom の作業場を視察

◆意見

現地調査では、素晴らしい法人による複合経営の取り組みを視察した。基盤整備と複合経営は、基盤整備に際しての要件でもあり、やる気のある法人には一層の支援・指導を図るべきである。



法人名/TEAM.Freedom
代表/細井 千代文さん(千畑地区)
設立時期/平成20年10月から
営農部門/水稻・大豆・ネギ・ブドウほか

支援事業のPRを積極的に

◆調査内容

若手農業者の農業への取り組みについて
（農政課）

若手農業者の育成のため農業研修を行っており、過去5年間の修了者は5名である。町では農業研修、新規就農者に対する支援を積極的に行っている。

- ・農業次世代人材投資事業
- ・ミドル就農経営確立支援事業
- ・未来農業のフロンティア育成研修事業
- ・新規就農者経営安定支援事業
- ・新時代を勝ち抜く！農業夢プラン応援事業



佐々木和寛さんの作業場を視察



鶴谷紗基子さんのほ場を視察

◆意見

基幹産業である農業をさらに充実させるため、若手の新規就農者を確保すべきである。そのため、支援事業の周知をより積極的に図るべきである。



鶴谷 紗基子さん(仙南地区)
就農時期/平成29年4月から
営農部門/水稻・ブドウ・オクラ



佐々木 和寛さん(千畑地区)
就農時期/平成30年4月から
営農部門/ネギ

不採択としました

◇陳情42号 お金の心配なく、国の責任で、安心してらせる社会実現のための社会保障制度の拡充を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川洋基
秋田県労働組合総連合 議長 加賀屋俊悦

〈教育民生常任委員長報告〉「医療、介護、年金、教育などすべてを国の責任でお願いするのは財政的にも無理がある」「『お金の心配なく』『不公平税制を正す』と陳情の中にある文言に疑問がある」との意見があった。採択1名、趣旨採択1名、不採択2名で「不採択すべきもの」とした。

◇陳情第31・34号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外、国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

「新しい提案」実行委員会 安里長従、外6名
全国青年司法書士協議会 会長 半田久之

〈総務常任委員長報告〉「沖縄県を分断するもので良くない」等の意見があった。出席委員の全会一致で「不採択すべきもの」とした。

◇陳情第36号 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情

宜野湾市民の安全な生活を守る会
会長 平安座唯雄

〈総務常任委員長報告〉「沖縄県を分断するもので良くない」等の意見があった。出席委員の全会一致で「不採択すべきもの」とした。

採 決 結 果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。 ○：賛成 ●：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
議員名	深沢 義一	欠 番	鈴木 正洋	内田 清文	泉 美和子	森元 淑雄	高山 茂雄	細井 邦男	熊谷 良夫	伊藤 福章	鈴木 良勝	村田 薫	藤原 政春	深澤 均	熊谷 隆一	澁谷 俊二	
◎令和元年第8回議会定例会（12/2～12/11）																	
陳情第31号、陳情第34号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外、国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情																	
	●		●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		不採択
陳情第42号 お金の心配なく、国の責任で、安心してらせる社会の実現のため社会保障制度の拡充を求める陳情																	
	●		●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		不採択

趣旨採択としました

◇陳情41号 ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川洋基
秋田県労働組合総連合 議長 加賀屋俊悦

〈教育民生常任委員長報告〉「労働条件を抜本的に改善する必要性を感じる」「公平性の観点からある程度の利用者負担は必要ではないか」との意見があった。採択1名、趣旨採択3名で「趣旨採択すべきもの」とした。

委員長報告に対する反対意見
泉議員 介護従事者の大幅な処遇改善は関係者の切実な願いで、看護現場での人手不足の改善につながる。そのためには国庫負担大幅な引き上げが求められるべきで、安心安全の介護保険制度の充実のために採択すべきだ。
熊谷（良）議員 ケアプランの有料化の廃止、介護保険の軽減等については、介護保険の健全な財政運営のために自己負担も必要なことだ。

採択し意見書を提出しました

◇陳情39号 医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書の提出について

秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 石川洋基

〈教育民生常任委員長報告〉「今後の医療需要の高まりとともに優れた人材の確保が求められる」「医療の質を落とさないよう医師を増やすべき」との意見があった。採択3名、趣旨採択1名で「採択すべきもの」とした。

◇陳情40号 介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設に関する意見書の提出について

秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 石川洋基

〈教育民生常任委員長報告〉「介護現場では離職者が多く、賃金を上げて介護職員を確保する必要あり」との意見があった。出席委員の全会一致で「採択すべきもの」とした。

◇陳情第44号 「深刻な医師不足、高齢化の進行、公共交通機関の衰退など地方における公立・公的病院におかれている医療事情の状況把握を欠いたまま、国の基準に基づき一方的な再編・統合は行わないこと」を国に求める意見書提出の陳情書

秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺淳

〈総務常任委員長報告〉「国の基準で一方的に病院の再編や統合を決めるべきではない」「患者はどこへ行ったらいいのかわからない」などの意見があった。出席委員の全会一致で「採択すべきもの」とした。



村田 薫 町長

マイナンバーカード 取得に助成を

町長 助成制度はなじまない

これからは手放せない!
マイナンバーカード

お持ちのマイナンバーカードが、
「身分証明書」として使えるよ!

マイナンバーカードのメリット

- マイナンバーカードをコンビニで取得できる!
- マイナンバーカードをコンビニで、各種のサービスが利用できる!
- マイナンバーカードをコンビニで、各種のサービスが利用できる!

マイナンバーカードの活用

- マイナンバーカードをコンビニで、各種のサービスが利用できる!
- マイナンバーカードをコンビニで、各種のサービスが利用できる!
- マイナンバーカードをコンビニで、各種のサービスが利用できる!

マイナンバーカードの活用

- マイナンバーカードをコンビニで、各種のサービスが利用できる!
- マイナンバーカードをコンビニで、各種のサービスが利用できる!
- マイナンバーカードをコンビニで、各種のサービスが利用できる!

サポカー/サポカー-S
で未来はもっと
明るくなる。

「自動ブレーキ」が
止まるをサポート
【サポカー-S】

「自動ブレーキ」が
止まるをサポート
【サポカー-S】

「自動ブレーキ」が
止まるをサポート
【サポカー-S】

「自動ブレーキ」が
止まるをサポート
【サポカー-S】

「自動ブレーキ」が
止まるをサポート
【サポカー-S】

町長 マイナンバーカード

議員 マイナンバーカードは平成27年10月から制度化されたものの、令和2年から国ではカード新規取得者に5000円のマイナポイントを付与すると発表した。この機会にカードを取得する事は、大変意義あることと思う。多くの町民に取得してもらうためにも、町として何らかの助成が必要ではないか。また、マイナンバーカードに関する町長の考えは。

の取得方法には、スマートフォンやパソコンを活用した4種類があるが、いずれの方法でもそれほど大きな負担は発生しない。したがって、提案の助成制度はなじまないものと考えている。取得に必要な書類を準備し住民生活課に持参してもえれば、支援を行う。マイナンバーカードに関する見解だが、国で推進している制度であり、私の立場では、国の方針にのっとり適切に推進する。

サポートカー購入等に補助を
町長 国の判断を待つ

議員 高齢ドライバーによる交通事故を防止する対策として、政府は安全サポート車等の購入にかかる費用を補助する方向で調整していると聞く。一部の自治体では、独自の制度を設けて実施している。当町でも具体的な実施に向け、考えてもらいたい。町長の考えは。

町長 町では、令和2年度から新規事業として実施できよう、9月から検討してきた。しかし、国からその制度の概要が伝わって来らず判断できない状況だ。国の制度内容が固まれば、適切に判断していく。

12月定例会

一般質問



- | | |
|----------|---|
| 村田 薫 議員 | ◇マイナンバーカードの取得に助成を
◇サポートカーに町の助成を |
| 森元 淑雄 議員 | ◇敬老会のあり方について |
| 深澤 均 議員 | ◇防災重点ため池について
◇クマによる人身被害の対応について |
| 高山 茂雄 議員 | ◇交流人口及び関係人口への取り組みについて
◇こどもの虐待について
◇熊の出没情報がある地域のスクールバスについて |
| 泉 美和子 議員 | ◇マイナンバー制度について
◇国保税の引き下げを |
| 内田 清文 議員 | ◇美郷町の達成度について
◇美郷町を宣伝することについて |
| 鈴木 正洋 議員 | ◇今後の湧太郎のあり方について |

一般質問とは?

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。通告(質問の届け出)は、議員個人の判断によります。

12月10日の本会議では、7議員が13項目について一般質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。



ふかさわ ひとし
深澤 均 議員

町内ため池の防災対策は

町長 新規15ヶ所を防災計画に追加

町内ため池の現状

管理者	貯水ヶ所数	貯水量
仙北平野土地改良区	4	196,000～1,128,000㎡
千畑土地改良区	22	1,000～30,000㎡
仙南土地改良区	10	3000～702,000㎡
個人管理	13	200～9,000㎡



一丈木ため池(ため池百選)

議員 平成30年7月の西日本豪雨によるため池決壊の被害を受け、11月に農林水産省は防災重点ため池の選定基準を見直した。美郷町内のため池の現状と再選定の結果は。
また、決壊時の浸水想定エリア策定の進捗状況は。

町長 美郷町にはため池が49か所ある。これらを新たな選定基準で調査した結果、既存の防災重点ため池9か所に、新たに15か所が加わった。内訳は、千畑地区13か所、六郷地区2か所、仙南地区9か所となっている。

町では既存の防災重点ため池9か所を地域防災計画に位置付けているが、それ以外については県が来年度、浸水想定区域図等を作成する予定であり、それをもとに町の地域防災計画への位置づけを行う予定である。

町長 クマによる人身被害が発生した場合は、通常の医療保険制度を活用して治療をしてほしい。医療費は、個人で加入する生命保険、損害保険で対応してもらえない。
偶発的な人身被害に対する治療費支援は、作業中の事故や自然要因、野生動物によるもの等、幅広く存在し、クマ被害のみに町独自の支援策を創設するのは困難である。県全体の問題でもあるため、県にも救済・支援策を確認したが、現在のところはないようだ。

クマ被害に支援を 町長 支援は困難

議員 令和元年に県内で発生したクマによる人身被害は14件、被害者数は16人と、前年の2倍以上になっている。突然襲いかかるクマの被害は、防ぎようがない。被害者に対する独自の救済・支援策は検討できないか。

敬老会式典を1会場で

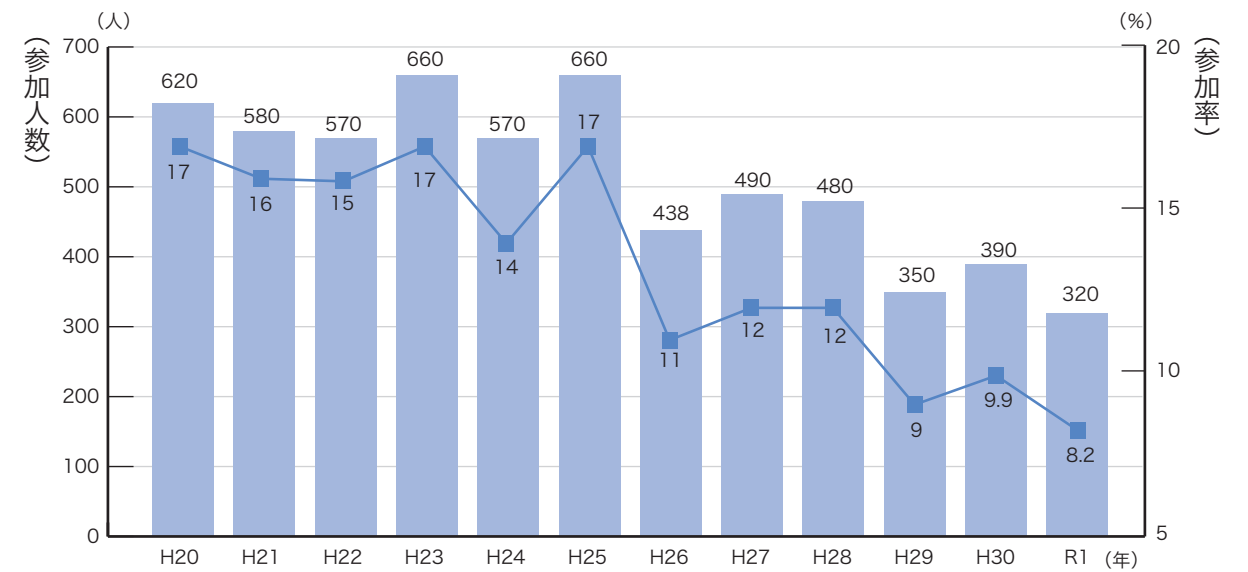
町長 総合的に見直し検討する



もりもと よしお
森元 淑雄 議員

議員 敬老会式典は現在、3ヶ所で開催されているが、参加者は年々減少している傾向にある。今後は仮称「美郷町長寿を祝う会」として1会場で開催すべきと思うが、町長の考えは。
町長 敬老会式典の参加者減少については、いろいろな要因があると思うが、参加の輪がもつと広がっていくために、これまでの開催方法や内容の再検討が必要な時期に来ていると認識している。
来年度からは会場や式典のあり方、お祝い品やアトラクション、そして交通手段の確保などについて、近隣自治体の状況を把握しながら総合的に見直し検討していく。

美郷町の敬老会参加者推移



アトラクションを楽しむ皆さん



高山 茂雄 議員

ふるさと会を美郷町で 開催しては

町長 総会や役員会等に提案

議員 交流人口及び関係人口増加への取り組みとして、毎年行われている「ふるさと会」を美郷町で開催してはどうか。田舎に帰って来るひとつのきっかけを提供し、宿泊してもらった方々の情報交換の中から、町の活性化につながる情報が得られることもあると思うが、町長の考えは。

町長 ふるさと会は、会員が運営を行っており町主催とはならない。総会を開催する関係者に意向を確認したが、美郷町で開催したい意見がある一方、日程や旅費負担などで参加率が低下する懸念があるなどの意見もあつた。こうした意見を踏まえ、提案の地元開催について総会や役員会等の場で働きかけていきたい。



東京で開催されたふるさと会総会

地域全体で子どもを守るべき

町長 啓発活動を展開

議員 社会問題となつてくる子どもの虐待について、住民に対し正しい知識と正確な情報を提供して、地域全体で子どもを守る意識の醸成をはかるべきと思うが、町長の考えは。

町長 地域全体で子どもを守る意識醸成は大切なことである。地域協議会活動や各種情報提供活動を継続しながら、地域住民の意識向上がはかれるよう、各般の機会を通じた啓発活動を展開していく。

クマ出没時の通学バスの運行は

教育長 柔軟な対応を検討

議員 クマの出没情報がある地域の通学バス運行について、子どもたちが被害にあわないよう柔軟な運用を求める。

運行は考えていない。今後、登下校時間帯に出没情報があつた場合は、柔軟な対応を検討する。

教育長 一般的にクマが夜行性動物であること、児童生徒の登下校時間帯に通学路に出没情報がないことなどから、現段階では特別な

国保税の引き下げを

町長 県内では税率・税額とも低い方だ

議員 令和元年度、資産割を廃止したことで、負担軽減が図られたが、まだまだ重税感があり大変だという住民の声がある。現在、基金が2億5千万円程となつているが、この一部を活用すれば、さらなる負担軽減ができるのではないか。新年度から引き下げようように求める。

国民健康保険の運営が県に移行し2年目ということで、事業費納付金の動向や標準税率についてまだ見通せない状況であり、基金を取り崩すことには慎重にならざるを得ない。

マイナンバー制度は 見直すべき

町長 国の政策であることに理解を



泉 美和子 議員

議員 政府がマイナンバーカードの大幅な普及推進のための具体策を打ち出した。マイナポイントの取得は、手順が複雑な上、パソコン等が必要で、高齢者や低所得者には不向きだと言う声があがつている。マイナンバーは、国が無理やり押し進めるものではなく、存続の是非を含め抜本的な見直しが必要と思うが、どう認識しているか。

町長 マイナンバー制度は、立法府で充分に議論して制定された法律である。地方自治体の立場では、適切に関連事務を推進していくことが求められる。公務員のマイナンバーカード取得については、実質的に義務化になると報道された。強制するものではないと思うが、どのような対応をしているか。



マイナポイントの取得にはパソコン等が必要

公務員のマイナンバーカード取得については、強制ではなく個々の職員の判断に委ねる対応としている。

町長 国保税資産割を廃止し、所得割、均等割、平等割を据え置いたため、国保税の負担軽減は図られていると認識している。県内では税率・税額とも低い方だ。基金については、国から「安定的かつ十分な基金を積み立てる」ように示されている。町では保険給付費の2ヶ月分ほどを目安にしている。



うちだ きよふみ 議員

町政15年間の達成度と今後の課題は

町長 満足度の向上に努める

議員 美郷町の初代町長として、これまでの15年間でどう思っているか。達成度とこれからの課題は何か。

町長 達成度を平成29年度実施の「美郷まちづくり町民アンケート」結果から客観的に推し量れば、満足度の高い分野は、上下水道の整備（93・7％）、乳幼児教育の推進、行政運営（92・3％）となる。

一方、満足度の低い分野は工業振興（84％）、生活の安全性の向上（85・2％）、労働・雇用対策の推進（86・7％）となっている。

住み心地は「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」が93・1％で平成26年の調査より1・7ポイント増加、定住意向については「今の場所に住み続けたい」が85・4％で1・1ポイント増加、町への愛着・誇りについては「感じる」「少しは感じる」が91・2％で1・4ポイント減少した。

町民満足度の向上が自治体には大切で、今後も総合計画にのっとり各種施策を推進していく。



美郷町独自の魅力とは

町長 自然も人も、全てが魅力

議員 町長が考える美郷町独自の魅力と、その売り込み方法は。

また、町ホームページにある「秋田県美郷町」の文字配色の意味合いと、ネット検索への対応は。

町長 独自の魅力は、美郷雪華をはじめ、松杉並木、湧水群、坂本東獄邸、酒蔵跡を活用した湧太郎、飛翔館やリリオス、六郷のカマクラ行事、さらに民間企業との連携やタイ王国との交流も挙げられる。

そこに存在する自然環境、人もすべてが競争力のある当町ならではの魅力である。これらを率直かつ誠実に、熱意をもって伝えている。

ホームページの文字配色については、青色は「水の郷」、緑色は「豊かな自然」、赤色は「明るい未来」。



令和元年11月に新しくなった町ホームページ



すずき まさひろ 議員

湧太郎の売り場をワンフロアに

町長 現状では難しい

議員 平成31年3月策定の「公共施設等の管理運営に関する最適化構想」で、商工会の事務所を湧太郎に移す方針が示された。

しかし、優先すべきは、複合的商業施設としての魅力アップを図ることである。1階の小売スペースをワンフロアに改装し、ハンドメイド作品を並べる売り場としてはどうか。

湧太郎と六郷地区の商店街が共に繁栄していくように、新たな魅力を創出し、発信していくべきではないか。

町長 湧太郎には、町民が集い交流する場と、町の観光拠点施設としてのふたつの役割がある。

町民交流の役割としては、各テナント、ホール等の提供により、賑わいの創出やコミュニティ機能を果たしている。

観光拠点施設としては、観光客の受入れや町の魅力発信を行うことで、地域の

活性化を図っている。

空きテナントの解消については、指定管理者の「あきた美郷づくり株式会社」と検討した結果、「手づくり工房湧子ちゃん」で行っている特産品販売の一部機能を移転させることにした。

ワンフロア化への改装は現状では難しい。水文館は、今後について検討すべき時期を迎えている。議員の提案は今後の参考として受け止め、まちなかエリアの中心施設として魅力アップを図り、交流とにぎわい創出の場として、利活用の検討を重ねていく。



1月10日にオープンした湧太郎の「美郷屋」

議会運営委員会研修

日程…令和元年11月20・21日
場所…宮城県美里町・利府町

目的 議会活性化の取り組みを学ぶ

1日目【美里町】

美里町議会では、議員全員が所属する「行政・議会活性化調査特別委員会」を設置しています。この委員会は2つの分科会に分かれており、議会運営や委員会活動、情報公開、一般質問などに関して、例規の改正や取り決めの行いなど、各般の取り組みを行ってまいりました。

民に対し議会や議員の基本姿勢を示すもので、議会の最高規範として制定されています。今後は自由討論の導入や参考人の活用など、活性化に向けて先進的な取り組みを続けていくようです。

また、所管事務調査では常任委員会ごとに研究調査テーマと期間を定め、継続的に調査を行い、課題の整理や解決に向けて報告書（提言）としてまとめられています。

最近では通年議会の導入や議員定数、議員報酬の検討などによって、議会の存在意義を高めています。議会基本条例は、町



2日目【利府町】

利府町議会では、定数18人中8人が所属する「議会活性化調査特別委員会」を設置しています。

情報公開を重点事項に掲げ、議会報告会の開催や議会インターネット中継の配信などに取り組んでいます。「議会を傍聴していない住民に対しても傍聴したのと同程度の情報を提供する」をモットーにしており、「町村議会広報全国コンクール」では9年連続トップ10入りを果たしています。

また、議会傍聴者に対して、これまで配布していた議案一覧表や一般質問通告書等に加え、予算書や決算書、主要成果説明書の貸し出しもしています。

出しをしています。議会インターネット中継は、動画配信サイトを活用し、住民の関心を高めています。



議会広報常任委員会研修

日程…令和元年11月6・7日
場所…宮城県大和町・色麻町

目的 住民の関心と理解をどう引き出すか

1日目【大和町】

第29回全国コンクール優良賞8位入賞

特徴…定例会の概要を掲載して、その中から特に重要な議案を大きく掲載することで、読者の関心を引き出す工夫がなされています。その他の議案は、簡潔にまとめていました。

編集に際しての留意点としては町民目線を意識して、インパクトのある見出しや写真を使って、読みたくなるような紙面づくりに努めていました。また、専門用語やカタカナ用語は多用せず、小学生

にも理解できるように言葉づかいで文章をまとめました。児童生徒の写真の掲載する場合は、必ず保護者の許可をもらってから使用していました。質問と答弁について

は、質問者が原稿を書いて関連写真も用意していました。紙面全般の感想としては、フルカラー印刷で写真を大きめに使ったレイアウトが個性的でとても印象に残りました。

2日目【色麻町】

特徴…町民の関心度が高いと思われる議案を中心に掲載していました。公平、中立的な立場で客観的に編集しています。一般質問の掲載は1人2問までとし、写真は1件につき1枚、原稿は質問者が作成します。見出しを重視し、興味を引く表現を用い、記事内容が容易に推察できるよう工夫していました。

まとめ…県内では高い評価を得ている「みさと議会だより」だが、他県との比較ではまだまだ改善の余地があると感じました。既成概念にとらわれず、思い切った斬新な改善の必要性を強く感じました。今後の紙面づくりに活かしていきたいと思います。



たいわ町議会だより
[令和元年8月1日号]



議会広報研修(12月25日)

講師・佐藤亮真さん

秋田魁新報の美郷町駐在員である佐藤亮真記者から、紙面づくりに関して指導していただきました。

新聞の読者は『①見出し②写真(表)③文章』の順番で紙面に目を通すそうです。文章を読まなくても内容が理解できるように、工夫を重ねて紙面を作っているとのことでした。



「予算・決算特別委員会の質疑」のまとめ方については、「文字が多いので、本文を読む人は少ないと思います。予算の項目名と金額を一覧表にまとめておけば、多くの人が目を通すようになります」と具体的なアドバイスをいただきました。

取材のコツについては「雑談で気持ちをほぐしてもらいます。相手に興味を持って話を聞くことが大事です」と教えていただきました。

議会広報研修(1月8日)

講師・大川清一さん

大川清一さん(寺田)は、10年以上に渡り、鳥海山をはじめ北東北3県の風景を撮影し続けている写真家です。

どのように四角いファインダーの中に収めるかを常に考えているそうで、時には雪穴を掘って1週間近く山にこもり、瞬間を捉えます。そのようにして撮影された100枚を超える美しい写真を披露していただきながら、撮影の極意を伝えていただきました。

写真撮影は朝方や夕方がよく、特に取材写真は対象物の大きさなどを他と比較できるようにすべきとの指導を受けました。またテクニックとして、広角ぎみに撮って必要な箇所をトリミングしたり、違う角度から複数枚撮影し後に編集する方法もあるとのことでした。



ようこそ美郷町へ

山形県最上町議会(11月27日)

「産業厚生常任委員会」の一行8名が研修のため本町議会を訪れました。

本町からは正・副議長、産業建設委員長並びに千畑土地改良区理事長、同事務局長及びニューファーム千畑代表理事が出席しました。研修内容は、ほ場整備・集落営農等の取組について。説明後の質疑応答では、当時の減反政策や米価下落と将来展望が見出せない状況のなか関係者の同意を取り付け奮闘した実例をもとに、活発な意見交換が行われました。



全国町村議会議長会創立70周年記念表彰



伊藤 福章議員
議員在職30年

◆主な経歴

仙南村議会議員
(平成元年9月～平成16年10月)
美郷町議会議員
(平成16年11月～)
美郷町議会議長
(平成17年10月～平成21年9月)

秋田県地方自治功労者表彰



泉 美和子議員
議員在職29年

◆主な経歴

六郷町議会議員
(昭和63年6月～平成16年10月)
美郷町議会議員
(平成16年11月～平成19年3月)
美郷町議会議員
(平成21年10月～)



熊谷 良夫議員
議員在職28年

◆主な経歴

六郷町議会議員
(平成3年5月～平成16年10月)
美郷町議会議員
(平成16年11月～)

第2回 ムチューデント 美郷中 インターアクト部



ボランティア活動に取り組むインターアクト部は、令和元年度にできた新しいクラブです。10人の部員は、全員が1年生。週に3・4回、多目的室で活動しています。

12月には、タイの生徒たちを迎える集会を企画し、進行役を務めました。英語と日本語による司会の他、投影するスライドの準備など、沢山の仕事を皆で協力してこなしました。タイについてまとめた資料は、先生たちにも好評でした。

「活動の幅を広げて、地域の役に立てるようなことをしたい」と語る部長の田丸舞さんでした。

(取材・鈴木正洋)

★クイズ

【問1】 今回の表紙は美郷中男子○○部 → 【正解】 卓球

【問2】 一般会計決算の歳出は○○○億円 → 【正解】 115

◎クイズ当選者 抽選の結果、次の方が当選しました。

高橋 久美子 様 鈴木 みよ子 様 武藤 節子 様

みさと
議会だより
第61号
クイズ
正解と当選者



シリーズ キラリ美郷 vol.57

健康でキレイに ～フラダンス～

お問合せ

フラダンススクール

代表: 福田 友子 ふくだ ともこ

会場: 中央ふれあい館

連絡先: 080-3274-4505 (福田)



? クイズ

問1 今回の表紙は美郷中〇〇〇〇〇
〇〇部

問2 12月定例会で一般質問をした
議員は〇人

〇の中だけお答えください

応募方法／

はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を
書いてお送りください。正解者の中から抽選で
3人の方に粗品を差し上げます。また、**議会
へのご意見**をお待ちしております。

あて先／

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙 170 番地 10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／

令和2年3月15日 (当日消印有効)

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。
日程は2月15日発行の「お知らせ版」をご覧ください。

フラダンススクールの練習
を見学しながら、福田友子先
生にお話を伺いました。
「踊りを覚えるというより
は、運動が目的で来てくれる
人が多く、月に1回のサーク
ル活動を楽しみにしてくれて
います。愉快的仲間ができる
場所ですよ」
基本ステップを皆で繰り返し、
体で覚えるようにがんばって
います。月に1回踊るだけで
骨盤がキレイに整うそうです。

現在会員数は、15名ほど
で、50代から80代までおら
れるそうです。
「健康で笑って毎日を過
す」を目的としているサーク
ルです。上手に踊ることが目
的ではないので、どなたでも
参加できます。
第3土曜日に中央ふれあい
館で活動しています。興味
のある方はぜひ連絡してくだ
さい。

(取材・高山茂雄)

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai @ town.misato.akita.jp

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>

【印刷・製本】株式会社アイ・クリエイト

地球環境にやさしい
ベジタブルインキを
使用しています。
VEGETABLE
OIL INK